

「埼玉県理学療法士会による高校テニスサポート活動における埼玉県大会および関東大会での介入内容・サポート体制の違い（後方視的調査）」に関するお知らせ

このたび、2017年度から2022年度までの埼玉県理学療法士会による高校テニス埼玉県大会（インターハイ予選・新人大会）と2022年度の関東大会において理学療法士ブースを利用した選手のサポート記録を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、【埼玉医科大学倫理審査委員会】の承認を得て、また、埼玉県高体連テニス専門部仲村祐委員長の同意を得て行うものです。

本研究では、サポート記録に関連する理学療法士ブースを利用した選手に追加でご負担をお願いすることはありませんが、サポート記録情報を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、選手ご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても、今後の大会の理学療法士ブースの利用に影響が生じる（利用できない、雑な対応をされる等）といった不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる情報

2017年10月31日から2022年11月6日の期間に埼玉県高校テニス大会（インターハイ予選・新人大会）および関東大会にて埼玉県理学療法士会による理学療法士ブースを利用した選手に対するサポート記録を対象としております。

2. 研究の目的

埼玉県理学療法士会ではスポーツリハビリテーション推進部の事業として、2017年度秋より埼玉県高校テニス大会（インターハイ予選県大会個人戦および団体戦 [5-6月]、新人大会県大会個人戦および団体戦 [9-10月]）のサポート活動を実施しています。活動内容は、各大会期間中に大会本部に理学療法士によるメディカルサポートのブースを設置し、試合前や試合後の身体のコンディショニングを希望して来室した選手に対するメディカルチェック・コンディショニング（15-20分程度）や試合中のメディカルタイムアウト時の応急処置対応を行っています。県内で勝ち上がった高校は、例年6月には関東地方内で関東大会が開催され出場していますが、今回、2022年度は埼玉県が大会運営の担当となり、関東大会をサポートする機会を得ました。これまで関東大会での理学療法士による大会サポートは行われておらず、貴重な機会といえると思います。

以上より、1) これまでの埼玉県大会と今回初めてサポートを行った関東大会のサポート記録を分析し、選手がどのような身体の不調や不安感の訴えで理学療法士ブースを利用しているか、2) 年齢・学年の違いや性別の違い、埼玉県大会と関東大会での競技レベルの違いによる身体の不調や不安感の違いを調査し明らかにすることで、今後、高校テニス選手の障害予防プログラムを検討する上で有益な情報になると考えます。加えて、3) これまでの理学療法士のサポート体制を分析することで、選手や指導者に対しより充実したサポート活動が提供できるよう今後の活動内容の検討に繋げることを研究目的としました。

3. 研究期間

倫理審査委員会の承認後～2024年3月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

- ・選手情報：年齢、学年、性別、利き手、ブース利用時期、主訴
- ・介入内容：日時、大会名、理学所見、介入内容
- ・サポート体制：理学療法士の人員数、会場数

※この研究で得られたサポート記録情報は、【埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科】において、研究責任者である服部寛が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、サポート記録に関連する理学療法士ブースを利用した選手のプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

2017年10月31日から2022年11月6日の期間の埼玉県高校テニス大会（インターハイ予選・新人大会）および関東大会のサポート記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科
埼玉県理学療法士会テニスサポート事業責任者 服部寛（研究代表者）
- ・埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科
埼玉県理学療法士会テニスサポート事業担当 赤坂清和
- ・埼玉医科大学かわごえクリニックリハビリテーション科
埼玉県理学療法士会テニスサポート事業担当 濱田勇志
- ・伊奈病院リハビリテーション技術科
埼玉県理学療法士会スポーツサポート事業統括 遠藤浩士

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 【埼玉県理学療法士会】 テニスサポート事業責任者
【埼玉医科大学】 保健医療学部理学療法学科 服部寛

お問い合わせについて

ご自身のサポート記録情報を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。なお、例え拒否の申請があった場合でも、今後の大会の理学療法士ブースの利用に影響が生じる（利用できない、雑な対応をされる等）ことはございません

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科（服部寛）

住所：〒350-0496 埼玉県入間郡毛呂山町川角 981

電話：049-295-1001（土日祝日を除く 9：00～17：00）

メールアドレス：hhattori@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：埼玉県理学療法士会による高校テニスサポート活動における埼玉県大会および関東大会での介入内容・サポート体制の違い（後方視的調査）

○研究責任者：埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科 服部寛